



## 第 21 回例会報告(11月29日)

### 【出席報告】

・会員数	53名	・出席数	36名	・欠席数	17名
・当日出席率	70.83%	・前々回修正出席率	83.67%		

<欠席会員> 青野(淳)、原、檜垣(巧)、平田、菅、桑森、光藤、村上(修)、尾越、田中、竹田、渡辺  
 [免除会員] 青野、原田、飯、松本、八木  
 <11/15 欠席補填>(11/6 丸亀東)檜垣(俊)、川上、眞鍋 (11/8 松山南)村上(修) (11/16 東京西)青野(賢)  
 (11/19 今治北)松木 (11/20 今治南)尾越 (11/21 明石)桑森

会長報告・村大三郎ガバナーが旭日賞を受賞されました。

幹事報告・12月9日(日)8時～10時に近見山清掃美化活動を行います。8時までに近見中学校グラウンドに集合。

## 会員卓話

四国ガス株式会社 専務取締役 眞鍋次男会員『おかげさまで100周年』:RCに入会して半年が経ちました。異業種の方々と知り合え、お話できる事が私の大きな財産になっています。今後もロータリアンとして人格を高めていきたいと思えます。今年の11月15～17日は特別な記念日でした。15日は会社創立100周年、16日は還暦の誕生日を迎えました。娘達の提案で還暦を祝って夏に家族7人で北海道旅行に行きました。美瑛の花畑は色鮮やかでよい思い出になり、命の洗濯もできました。17日は入籍日で、結婚33周年を迎えました。四国ガスは今年で100周年を迎えました。私は高松で13年間勤務しました。よく「なんで四国ガスは本社が今治なん？」と聞かれました。その理由は創設時期の歴史にあります。昭和19年に戦時統合で四国内のガス会社7社を合併するようにと政府から要請があり、昭和20年8月に合併契約承認、11月から四国ガスとなりました。今治が本社となったのは、タオル・造船・海運など地元産業がしっかりしており、昭和19年にはまだ空襲にあっていなかった事、また四国内のガス会社合併時、今治ガス社長である瀧勇氏が経営者として人格も尊敬できる人物であったことなどがあげられます。瀧勇氏をご存知の通り今治RC発足にも尽力しました。四国ガスの前身である今治ガス創設当時(1912年)は、ガス供給量230m<sup>3</sup>、契約戸数774戸でした。大正期の石炭価格高騰、戦時中の軍需優先・民間供給制限、昭和21の南海大地震など苦しい時期もありましたが、それらを乗り越え昭和26年から本格的復興期を迎えます。昭和28年にガスタンク完成、昭和32年に四国ガス式オイルガス発生炉完成、昭和34年にはLPガス販売を開始します。昭和36年に現在の本社ビルが完成し顧客数は3万戸になりました。平成に入りIGF21計画のもと平成12年には天然ガスへ転換を開始し、平成15年に高松港へLNG船の新珠丸を就航させ、平成22年にLNGへ100%転換を完了しています。100周年を迎え、今後も成長できる様にADVANCE2013計画のもと顧客満足度・会社の総合力を高める努力を続け、環境負荷の少ない低炭素社会を実現しようという目標を掲げています。瀧社長は『地元と共に生き、栄えることなくして企業発展はない』と考え、地元の企業様に支えられてここまでこれたと思います。また時代のニーズに合わせて熱源の変化を柔軟に行い、先の100年を目指します。



### 次回例会(12月6日)

【ロータリー財団奉仕委員会アワー】

<会員誕生日祝> 藤堂 宗明氏(12/7) 平尾浩一郎氏(12/9) 青野 淳一氏(12/11)  
 [ 健寿司 ]